

令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 薬務課
 担当名: 販売指導担当
 内線: 3622

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
S106	電子処方箋活用・普及促進事業(薬局) 令和7年度			一般会計	衛生費	医薬費	薬務費	電子処方箋活用・普及促進事業(薬局) 令和7年度	
事業期間	令和6年度～ 令和7年度	根拠 法令	医療提供体制推進事業費補助金(電子処方箋の活用・普及の 促進事業)			針路 分野施策	03 0305	介護・医療体制の充実 医薬品などの適正使用の推進	SDGsゴール 3 SDGsターゲット 3-8
1 事業概要	<p>国において医療DXが進められているが、オンライン資格認証の次のステップとして位置づけられている電子処方箋については導入をすすめている。</p> <p>県においても電子処方箋の活用を含めた医療DXを進めるため、電子処方箋導入医療施設を一定程度確保した上で、DXの課題や実務上のメリットを整理し、他の医療施設・薬局への横展開を図る必要がある。</p> <p>県では、令和6年度から導入に前向きな医療施設・薬局に助成金を支給を行っている。そこで、引き続き令和6年度に導入を行った施設に助成を行うものである。</p> <p>電子処方箋活用・普及促進事業費(薬局) △52,500千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容 電子処方箋活用・普及促進事業(薬局) 103,500千円→51,000千円 薬局に対し、電子処方箋導入に係る経費を助成</p> <p>(2) 事業計画 ア 既に電子処方箋を導入し、支払基金により医療情報化支援基金(電子処方箋)の交付決定を受けた薬局に対し、助成金を支給する。(令和7年3月31日までに導入を済んでいる薬局) (対象施設数) 薬局 750 (1,900 (導入見込み薬局) -1,150 (補助金交付見込み薬局)) → 534薬局(延べ)</p> <p>イ 電子処方箋の普及促進に向けて下記の取組を行う。 (ア) 電子処方箋を導入した薬局に厚生労働省作成のポスターなどの活用を依頼し電子処方箋の普及促進を図る。 (イ) 医療機能情報提供システムを活用し、電子処方箋に対応した薬局を周知する。 (ウ) 埼玉県薬剤師会と連携し、普及促進に向けた取組を行う。</p> <p>(3) 事業効果 【活動指標(アウトプット)】 県内薬局の電子処方箋導入に係る補助金交付数: 750薬局(当該事業による増加) → 534薬局(延べ) 【成果指標(アウトカム)】 患者自らの薬剤情報を一元的に管理でき、健康増進につながる。 処方情報を踏まえた調剤や重複投薬等の防止により、医療の質が向上する。</p> <p>(4) 補正予算の概要 申請が当初の見込みを下回ったことによる減額 △52,500千円</p>					
2 事業主体及び負担区分	【厚生労働省】 電子処方箋活用・普及促進事業費補助金 (国2/3・県1/3)								
3 地方財政措置の状況	なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×0.2人=1,900千円								
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△52,500	国庫支出金	△35,000					△17,500	51,000
現計額	103,500		69,000					34,500	

事業内訳書

事業名	電子処方箋活用・普及促進事業（薬局）令和7年度		
単位事業名	電子処方箋活用・普及促進事業（薬局）令和7年度	予算額	△ 52,500千円

○歳入

（単位：千円）

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 医薬費補助金	△35,000	—	【厚生労働省】 電子処方箋活用・普及促進事業費補助金 補助率 2/3
一般財源	△17,500	—	
合計	△52,500	—	

○歳出

（単位：千円）

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	△52,500	—	補助金交付申請が当初の見込みを下回ったことによる減額
合計	△52,500	—	